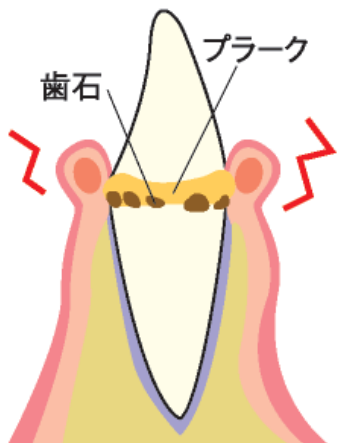




歯肉炎と歯周炎

歯肉炎



歯ぐきが赤く腫れる
歯磨きのときに血が出る など

歯周炎



歯が長くなったように感じる
歯が浮いたような感じがする
歯がぐらぐらする など

子供が検診結果を持ってかえってきた！

毎年6月末までに行われる「学校歯科健康診断」。

子供のお口の健康を守る大切なイベントです。以前までは虫歯等お口に問題がある人だけに用紙が渡されていましたが、ここ数年で結果の用紙は全員に渡されるようになりました。

これは親子で**お口の健康に関心を持つ機会にしてほしいから**なんです。

虫歯だけでなく、学童期に多い **歯茎の病気（歯肉炎・歯周炎）**にもチェックがついていないか確認してみてください。今月はその歯肉炎と歯周炎のちがいについてです。

まず**歯肉炎**とは、歯茎だけに炎症がある軽度の歯周病のことです。歯磨きやフロスを通すと血が出てくるのは腫れている証拠になります。結果の紙にGO（歯石の付着がない軽度の歯肉炎のこと）にチェックがついていたら要注意です。適切なブラッシングや生活習慣で改善できます。

つぎに**歯周炎**とは、歯を支える骨が溶け進行した歯周病のことです。歯周ポケットが形成され、歯周病菌が入り込んで歯を支える組織が炎症を起こしてしまいます。また歯茎の中にも歯石がたまるので、歯医者で専用の器具を使って除去する必要があります。

虫歯もそうですが**歯周病も毎日の適切な歯磨きや食生活などで予防できる疾患**です。

検診の結果、問題がなければ子供自身の力で守れたことを褒めてあげてください。

小さい時から**健康は自分で守るもの**という意識づけに繋いでいくことが大切です！

